

2014年9月17日

博報堂、日本オラクルのクラウド型マーケティング・プラットフォーム 日本市場導入・運用支援で協業

株式会社博報堂（本社：東京都港区、代表取締役社長：戸田 裕一）は日本オラクルが提供しているクラウド型マーケティング・プラットフォーム「Oracle Marketing Cloud」の日本市場での導入・運用について同社と協業することで合意しましたので、お知らせいたします。

グローバルで活用されてきた「Oracle Marketing Cloud」^{※1}を日本企業にスムーズに導入し、発展的な運用をより確かなものにするためには、日本市場固有のマーケティング・コミュニケーション環境を熟知し、事業環境に即した個別の課題発見と戦略設計が求められます。この度、日本オラクルと博報堂が協業し、日本オラクルが持つグローバルの業種別に蓄積したナレッジと、博報堂グループが持つ多種多様な業種・製品サービスのマーケティング活動に関するノウハウを掛け合わせ、同プラットフォームを日本のマーケティング環境に適合させるという形で、国内クライアント企業への導入・運用支援を開始することといたしました。

更に、両社は日本におけるベストプラクティスの集積を行い、国内クライアント企業の当サービスへの価値向上を目指します。

今後、博報堂と日本オラクルは、こうしたナレッジを備えたユニークなプラットフォームによって、国内クライアント企業の迅速なマーケティング変革を具現化し、継続的な事業成長の実現にむけて支援を行ってまいります。

※「Oracle Marketing Cloud」は、顧客データを迅速かつ容易に集約し、集客から販売、長期的な関係構築に至るまでの統合的な管理とオートメーションを実現するためのクラウド型サービス製品群です。BtoB、BtoCを問わず、オラクルの世界中のユーザー企業から提供される業種別ベストプラクティスをコンテンツ・ライブラリとして用意しています。

なお、「Oracle Marketing Cloud」は、以下の要素から構成されます。

- ・クラウド型マーケティング・オートメーションの仕組み「Oracle Eloqua Marketing Cloud Service」
- ・ソーシャルメディア・チャンネルにおける顧客との関係を管理・強化するためのクラウド型サービス「Oracle Social Cloud」



- ・コンテンツ制作から配信までの機能およびデータ分析、顧客データ統合を実現する「Oracle Responsys Marketing Cloud Services」
- ・最適な見込み客をターゲットするためにマーケティング・データを統合し、ディスプレイ広告や検索、あるいはソーシャルメディアといったデジタル・チャネルを通して、対象顧客ごとに事前定義された何百種類ものデータから配信できる「Oracle Bluekai」

◆9月17日「ad:tech Tokyo 2014」の日本オラクル様ブースにおいて、当協業についての発表を行います。

以上